

2025年「スポーツで輝く関西」の実現に向けて ～関西広域・産学官連携による取り組みの推進～

2018年、当会は「関西スポーツ振興ビジョン」を取りまとめるとともに「関西スポーツ振興推進協議会」を発足。2025年を目標年として、「スポーツで輝く関西」の実現に向けた取り組みを関西広域で産学官連携のもと推進している。昨年来のコロナ禍はスポーツ界にも大きな影響を与えているが、「こんな時こそスポーツ!」との考えのもと、関西において生涯スポーツの振興、トップアスリートの育成などビジョンで提示した4本柱の取り組みの具体化を着実に進めてきた。

今号では2020年度の活動状況と今後の取り組み方針を紹介する。

関西スポーツ振興ビジョンの 具体化に向けて

「関西スポーツ振興推進協議会」（座長：松本正義 関西経連会長）は2020年12月21日に第3回総会を開催、関西のスポーツ振興に向けた1年間の活動を報告するとともに、今後の方針について意見交換を行った。

今後の方針としては、ビジョンの4本柱「生涯スポーツの振興」「トップアスリートの育成」「スポーツイベントの招致」「スポーツ産業の振興」の各分野で具体化に向けた取り組みを加速するとともに、ワールドマスターズゲームズ2021関西(以下、WMG2021関西)の開催準備や機運醸成を進めることを確認した。2020年度の当会の取り組みや今後の活動について次に紹介する。

生涯スポーツ振興事業

政府は2021年度末の達成目標として「週1回以上のスポーツ実施率65%」を掲げている。その達成には、幼年期からの運動の習慣づけや、子育て世代など働く世代のスポーツ参加の拡大等が課題としてあげられている。

■スポーツイベントへのアスリート派遣テスト事業

課題解決の一策として、当会では、WMG2021関西を機に開催競技の聖地化に取り組む自治体等が住民のスポーツ参加拡大をめざし開催したイベントに協力する形で、企業所属アスリートを派遣するテスト事業を2件実施した。

①福知山市でのソフトテニス・チャレンジマッチ開催

WMG2021関西のソフトテニス競技開催地である福知山市は、三段池公園テニスコートの整備や国内大会の開催等を通じて同競技の聖地化をめざしている。

当会は昨年9月、福知山市と市スポーツ協会の主催によるWMG2021関西のリハーサル大会に、大阪ガス、川崎重工業の実業団チームの現役アスリート

トなど7名の派遣を実現、10代～70代の12組24名を対象とするチャレンジマッチを実施した。参加者や主催者からは本取り組みを評価し、継続実施に期待する声があがった。

②東大阪市での初心者向け体験型スポーツイベント開催

花園ラグビー場を有する東大阪市は、WMG2021関西でもラグビーの開催地となっている。同市では、2019年度から生涯スポーツ振興の一環として小学校低学年を対象とする初心者向け体験型スポーツイベントとして、を開催している。昨年10月に実施された小学1～3年生67名を対象とするバレーボール体験教室に、当会の協力によりVリーグ加盟の女子バレーボールチーム・JTマーヴェラスOGの参加が実現。当日はバドミントン、バスケットボールの体験教室も開催され、主催者である東大阪市からは連携継続への期待が示された。

アスリート派遣テスト事業



福知山市
ソフトテニス
チャレンジマッチ



東大阪市
バレーボール
体験教室

第3回総会では、この事業を継続・拡大することが、関西が「生涯スポーツ先進地域」をめざす上で重要であるとの認識で一致した。今後は、当会にて競技別の派遣協力候補の企業リストを整備する一方、関西広域連合および各府県の体育・スポーツ協会にて受け入れ候補となる大会・イベント等の情報

を整理し、より効果的・効率的にマッチングできるよう仕組みづくりを進めていく。

■ WMG2021関西は1年延期し、2022年5月に開催

2021年5月に開催予定だったWMG2021関西は、コロナ禍の影響により、国内外からスポーツ愛好家が家族・友人とともに参加し、他の参加者や地域住民との交流、ツーリズムを楽しむという大会理念の達成が困難となったことから、大会組織委員会が1年延期を決定、あらためて提案した2022年5月13日～29日での開催が国際マスターズゲームズ協会 (IMGA) によって承認された。会期決定を受け、競技日程や会場などを定める競技別実施要項の作成等を行った上で新規エントリーの受付が開始される (最新情報は大会ホームページ<https://wmg2021.jp/>に掲載)。

■ 関西スポーツ応援企業表彰

関西広域連合と当会は、2019年度より「関西スポーツ応援企業表彰」を実施し、関西でスポーツ振興や地域振興、健康経営等を推進している企業等を表彰している。

2回目となる本年度は、昨年9月～10月に公募を実施し、選考委員会での審査を経て受賞企業が決定した。

第2回「関西スポーツ応援企業表彰」受賞企業

大 賞：株式会社オークワ
 スポーツ振興賞：株式会社デンソーテン
 地域振興賞：オプテックスグループ株式会社
 健康経営賞：日本たばこ産業株式会社
 特別賞：オムロン京都太陽株式会社

大賞を受賞したオークワは、卓球部による指導講習会やマラソン大会の開催、地域のスポーツ大会の支援のほか、財団を通じコロナ禍で影響を受けたスポーツ活動の早期再開に向けた支援などを行っている。受賞企業には仁坂吉伸 関西広域連合長・松本会長連名の表彰状を授与した。

トッパスリート育成事業

東京のハイパフォーマンススポーツセンター (HPSC) では現在、国立スポーツ科学センターと味の素ナショナルトレーニングセンターの機能を一体的にとらえ、東京オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとする国際大会での日本代表選手のメダル獲得に向け、競技力向上に資する支援を実施している。関西にはこうしたハード・ソフトが一体となった施設・組織がないことから、「関西スポーツ振興ビジョン」

では、将来有望なジュニアのアスリートに対する海外遠征やコーチ招聘への支援、および大学等と連携した科学的な育成プログラムを受けることを可能とする支援、そして、トッパスリート育成・強化のための関西拠点設置を国に働きかけていくこと、などを取り組み方針として掲げている。

■ 医科学支援テスト事業

当会ではこの方針にのっとり、2022年度に「関西アスリートアカデミー (仮称) 構想」として、トッパスリート育成事業を本格実施することを目標に、本年度は医科学支援テスト事業を4機関の参画を得て先行的に実施した。

関西における医科学支援ネットワーク (イメージ)



本事業では、関西テニス協会所属の特別強化指定ジュニア選手4名 (中学生) の支援を大阪大学と大阪体育大学が、滋賀県の強化指定を受けているボート・カヌー選手3名 (高校生) の支援を立命館大学が、そして京都トレーニングセンターが住友電気工業陸上部所属のハードル選手1名 (社会人) の支援を主に担当。代表者・担当者会議を設置し、各支援元機関が連携して支援対象者に最先端の医科学サポートや指導方法のアドバイス等を行っている。

今後、競技大会等でのパフォーマンスなどもふまえ、事業の評価を実施する。支援対象者からは「HPSCは一部のトッパスリートしか利用できない。関西の諸機関の連携による医科学支援を受けられることで選手の成長につながる」、支援機関からは「これまで個別に活動していたが、関西でのネットワークが形成されればより充実した医科学支援を選手に提供できる」との評価を得ている。2021年度は、本事業を継続・拡大 (支援対象アスリートの拡大やより質の高い支援の実施) するとともに、関西の競技団体等を対象とする実態調査を行い、それをふまえて経済的支援に関する検討を深めることで「関西アスリートアカデミー (仮称) 構想」の策定・実施につなげていく。
 (地域連携部 橘知孝・中村誠・渡邊悠輔)